

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和6年10月16日(2024.10.16)

【国際公開番号】WO2022/074232

【公表番号】特表2023-544736(P2023-544736A)

【公表日】令和5年10月25日(2023.10.25)

【年通号数】公開公報(特許)2023-201

【出願番号】特願2023-520148(P2023-520148)

【国際特許分類】

A 24 D 1/20(2020.01)

A 24 D 3/17(2020.01)

A 24 F 40/20(2020.01)

A 24 F 40/46(2020.01)

10

【F I】

A 24 D 1/20

A 24 D 3/17

A 24 F 40/20

A 24 F 40/46

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月7日(2024.10.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

従来の紙巻たばこは、ユーザーが紙巻たばこの一方の端に炎を当て、もう一方の端を通して空気を引き出すときに点火される。炎と、紙巻たばこを通して引き出された空気中の酸素とによってもたらされた局在化した熱は、紙巻たばこの端を点火させ、その結果生じる燃焼は吸入可能な煙を発生する。これに反して、加熱式エアロゾル発生物品において、エアロゾルは風味発生基体(たばこなど)を加熱することによって発生される。公知の加熱式エアロゾル発生物品としては、例えば電気加熱式エアロゾル発生物品と、可燃性燃料要素又は熱源から、物理的に分離されたエアロゾル形成材料への熱伝達によってエアロゾルが発生するエアロゾル発生物品とが挙げられる。例えば、本発明によるエアロゾル発生物品は、エアロゾル発生基体のロッドの中に挿入されるように適合されている内部ヒーターブレードを有する電気加熱式のエアロゾル発生装置を備えるエアロゾル発生システムにおいて特定の用途がある。このタイプのエアロゾル発生物品は、先行技術、例えばEPO 822760に記載されている。

30

40

50